カノープス

カノープスとは！
星の名前で、別名を布良星〈めらぼし〉といい、りゅうこつ座の一等星です。本土ではほとんど見ることのできない星ですが、沖縄では、冬、南の水平線の上に七色に光を放ちながらキラキラと輝いています。中国では、この星を見ると長生きできるとされ、長生星、南極寿星〈ことぶき星〉などと言われているそうです。

発行日　平成16年10月15日(金)
発行所　社会福祉法人　栄寿の会
　　介護老人保健施設　栄寿園
住　所　平良市字下里2662番地
　　TEL (0980) 73-6481
　　FAX (0980) 73-6483
編　集　栄寿園カノープス編集部

おかげさまで 開設10周年!! 介護保険の地域拠点施設「栄寿園」

垣間見えてきた 介護保険制度の見直し

施設長　塩川　寛令

介護保険制度は、五年越しに見直す旨。同法附則第二条に規定されている。

このことを受け、国の社会保障介護保険部会は、昨年五月から十数回に亘り審議を重ねてきた結果を今度中間報告として公表されました。

同審議会での検証・成果・課題等を検討された中でのポイントは、「要支援・要介護1が増加し、全体の約五割に達している。これらの軽度者に対するサービスが利用者の状態の改善につながっていないという。」ことへの対応策として、「介護予防重視型システム」への転換を取上げていることです。

また、「地域密着型サービス」の創設は新たな「地域ケア」(三元論)の現われといえましょう。

そのほか見直しの主だった事項を次に掲示します。

まず始めに、この五年間施行し積み重ねてきた制度の基本理念及び目標は現に踏まえつつ、新たに高齢者の「尊厳の保持」を基本に制度の「持続可能性」を高め、①介護予防の推進　②痴呆ケアの推進　③地域ケアへの展開が新課題としてクローズアップし加えられている。

また具体的内容としては、

一、給付の効率化、重点化
　①ケアマネージメントの体系的見直し
　②地域包括的支援センター(仮称)の整備
　③情報開示の徹底と事後規制ルールの確立
　④専門性を重視した人材育成と質の確保

四、保険料負担等の見直し
　①一号保険料の在り方
　②二号保険料の在り方

五、制度運営の見直し
　①保険者機能の強化
　②事業計画・基盤整備の在り方

などが見直し課題となっている。

なお、詳細については紙面の都合で割愛したが、いかにも盛り沢山の見直しが予想されていて、これからの法人及び施設経営にとって抱える新たな課題が山積すること必至となろう。

それから、栄寿園はおかげさまで開設十周年を迎えます。地域の皆様には、これからも益々のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

～ 平成15年度　決算開示について ～

社会福祉法人　栄寿の会
理事長　砂　川　盛　一

平成16年5月22日（土）に栄寿園会議室において評議員会・理事会を開催し、平成15年度 栄寿の会 収支決算が承認決議されたので、定款第23条の規定に基づき、その概要を下記のとおり掲載します。

※貸借対照表（栄寿の会）　H16.3.31 単位：千円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	226,862	流動負債	75,975
固定資産	544,322	固定負債	499,040
基本財産	(418,056)		
その他の固定資産	(126,266)	純資産	196,168
合計	771,183	合計	771,183

※財産目録（栄寿の会）　H16.3.31 単位：千円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金・預金	146,300	流動負債	3,983
基本財産	418,056	短期借入金	40,000
運用財産	115,861	固定負債	418,049
仮払金		職員預り金	2,955
未収金	79,360	未払費用	19,037
立替金	158	その他借入金	10,000
棚卸資産	1,043	引当金	80,991
前払金		純財産	196,168
機械備品等	10,405		
合計	771,183	合計	771,183

※損益計算書（栄寿の会）　単位：千円

勘定科目	合計	栄寿園(入所)	通所リハビリ	短期	支援事業所	在介支援センター	居開介護事業所
施設運営事業収益							
1.介護保健施設介護料							
介護報酬収益	297,683	297,683					
利用者負担金収益							
基本食事サービス料収益	55,020	55,020					
2.居宅介護料収益							
介護報酬収益	27,037		18,138	2,864	3,833		2,203
利用者負担金収益							
3.居宅介護支援介護料収益							
居宅介護支援介護料収益							
4.利用者等利用料収益							
介護保健施設利用料収益	63,574	63,574					
居宅介護サービス利用料収益	3,474		2,720	669			85
5.その他の事業外収益							
その他の事業外収益	7,012	1,257				5,755	
施設運営事業外収益							
受取利息	24	23	1				
その他収入（意見書等）	2,879	2,875	4				
雑収入	595	573	21				
合計	457,298	421,005	20,884	3,533	3,833	5,755	2,288
施設運営事業費							
給与費等	262,691	231,607	13,774	3,907	4,212	5,368	3,823
材料費等	31,435	30,094	1,300	31	0	0	10
経費等	45,102	41,791	1,816	44	550	330	571
委託料	9,258	8,753	320	9	99	9	68
研修費	1,489	1,245	56	1	92	87	8
減価償却費	27,539	25,005	1,516	221	239	239	319
本部費	1,186	1,132	36	1	10	1	6
施設運営事業外経費							
支払利息	13,941	13,439	502				
雑損失	6,218	5,994	224				
建設資金積立金繰入	20,000	19,280	720				
合計	418,859	378,340	20,264	4,214	5,202	6,034	4,805
損益差額	38,438	42,667	619	-682	-679	-279	-2,517

※借入金元金返済額 39,542（千円）《琉銀 他》　栄寿の会

そーめん流しで涼を演出

介護課　仲里　和也

皆さんは、そうめん流しを実際にやった事はありますか？

テレビや雑誌などで見た事はあっても、やった事があるという方は少ないのではないでしょうか。第一、宮古で、そうめん流しを出来るような立派な竹はなかなか手に入らないし、入ったとしても真っ二つに割って節を取り除くのは大変な作業ですし、そこまでしてそうめんを食べようという人は居ないのでは？

そこで、竹ではなく、雨どいでそうめん流しをしてしまおう！した事はなくてもやれば出来るだろう!?と思い、台風の中、雨どいを買いに走り回り、といを固定する方法を色々とチエを結集させ半日掛かりで作り、なんとか当日に間に合わせることが出来ました。

ダシの作り方教えて～!!

当日、おやつの時間に合わせて、厨房にお願いしていたそうめんがエレベーターで上がってきました。六十人前のそうめん約二十キロ!! めんつゆは、厨房の職人さん手作り、そこに味噌とサバの缶詰を使った古しながらのタレもおばあたちらい、後はそうめんを流すだけ。

といを挟んでみんなで向き合い、片手に割箸、片手にめんつゆ、これから始まる恐らく生まれて初めてのそうめん流しに皆さんの目が楽しい期待で輝いていました。

いざ、そうめんが流れてくると、あちらこちらから楽しそうな声や、笑い声があがり、目の前を通りすぎたそうめんを見送る間に次のそうめんまで逃がしてしまったり、口いっぱいにそうめんが入っているのに、次々と取ろうとしたり、普段の動きからは想像もつかない程素晴らしい反射神経を発揮して職員から歓声を浴びている方、箸でそうめんをせき止めて、うまく取れない方に「早く取りなさい」と、チームワークを発揮したりと皆さん一人一人がそれぞれに色々な方法で楽しんでいただきました。

はい！私の止めたそうめん取って!!

ふふふ!そうめんゲット!!

みんなの取り損ねたそうめん僕が食べちゃうよ～!!

初めてのそうめん流しでしたので、実際にそうめんを流すまでは、楽しんでもらえるか、又、ちゃんと取れなかったら？など、不安はありましたが、皆さんの笑顔と笑い声を聞いた時に不安は消え去り、逆に見ているこちらさえも楽しくなってきました。

来年は、更に楽しく出来るよう改良を加えて、皆さんに暑い夏を乗り切るための元気をつけていただけるようにしたいと思います。

最後になりましたが、協力してくださった職員の皆様、この場をかりてお礼を申し上げます。

平成十六年度
敬　老　会
みんなで築こう 活力ある長寿社会

おめでとうございます。

平成十六年九月二十二日（水）、職員（宮国郁子、砂川愛子、久貝洋子）による「かぎやで風」で幕を開けました。

米寿のお祝いをした方

新城トシさん
下地キヨさん
兼島久枝さん
下地秋さん
宮里初江さん

百寿の方

砂川サダさん　百三歳

砂川サダさんへは、宮古島で一番の長寿という事で、九月二十四日（金）、沖縄県と平良市からもお祝いをいただきました。

県職員と市職員四名の方々より、ご家族の立ち合いのもと贈呈がありました。（栄寿園会議室にて）

幕開け。職員による「かぎやで風」

エイサーへの挑戦

又吉　とも子

今年も年中行事の一環として、敬老会が二十二日開催されました。

宮古の最高齢者、砂川サダさんをはじめ他五人の米寿祝いを盛り上げるため、私は今回初のエイサーに挑戦することになりました。

仕事の合間で厳しい先生達（小学生）の指導を受け途中で投げ出したいと思う時もありました。

当日、パーランクをたたきながら利用者の笑顔と拍手で満足感を味わうことができました。

人生はいつも挑戦、何もしないであきらめては負け。

これからも共に私達職員も利用者が栄寿園で元気に幸せな日々を過ごせるよう日々努力し、毎年来る敬老の日を心から敬いふれあう日にしたい。

新入職員紹介

リハビリ助手	平山律子
介護	荷川取敏明
介護	与那嶺龍児
厨房	池間亮太
訪問介護	松原美雪

みなさんどうぞ
よろしくお願いします。

散髪ボランティア

沖縄県美容業生活衛生同業組合（宮古支部）より、十二名のボランティアのみなさんが、九月八日（水）に、入所者五十二名の散髪をしてくださいました。

第九回 盆おどりの夕べ

看護課　与那覇　悦子

去る、八月十四日、利用者の自立を支援し、家庭復帰を目指し、楽しく潤いのある療養生活をすごし、家族・職員・地域・ボランティアの方々との交流を深める目的で、「第九回盆おどりの夕べ」が栄寿園駐車場で行われました。

台風の影響もあり日程どおり実施されるのか、利用者のみなさん、職員一同も心配しておりましたが、当日は晴天！空に感謝です。

この日のためにボランティアとして参加していただいた高校生・職員の家族の方々、ありがとうございました。

やぐらでも、職員による踊り、琉球祭り太鼓の演舞、フォークダンスクラブ「ラグーン」の華やかな衣装での軽やかな踊り、鏡原子供会による楽しいクイチャー、青潮園の方々による三味線による歌と踊り、又、「家族に見てもらおう」と、この日のために頑張って練習した利用者による合同合奏が良かったですね。家族のみなさんも感動なさったことでしょう。

また来年も今年に負けない「盆おどりの夕べ」が開催できるよう職員一同頑張っていきたいと思います。

司会：島尻　敦夫・与那覇　悦子

在宅復帰

施設ケアマネ　下地　徳政

介護保険施設の四つの役割と機能として①総合ケアサービス②家庭復帰③在宅ケア支援④地域に開かれた施設等がありますす。

栄寿園の退所状況ですが、平成十五年四月～十六年三月まで百名が退所されました。内訳は入院退所七十名、他施設入所十一名、在宅復帰十九名。入院退所が多いのは長期入所者の重度化、医療機関の入院日数短縮の影響により受け入れ件数が増え、再入院が増えたのが原因と思われます。現在も他施設への入所までの待機者が何人かいます。月一・五名が在宅復帰されています。短期入所は四十四名、専用ベットを確保し年々利用者が増え在宅ケア支援施設として役割を果たしています。

平成十五年十二月に在宅復帰委員会が発足、対象者選抜、各部署の連携方法、在宅での生活能力などを明確にするためにマニュアルを作成しました。

次に在宅復帰困難と思われたケースを紹介します。本人が家で暮らしたいとの希望があり検討会を開催、家族（妹）は在宅での生活には不安があり消極的であったが在宅生活は施設、支援事業所、行政、みんなで支えていくことを説明しながら家族の不安を取り除いてすすめていきました。在宅環境チェック等を行うため本人同伴で自宅訪問を実施。次のような問題があり対処しました。

①家電製品が使用不能、経済的に購入ができないので新聞の十円コーナーで地域住民から冷蔵庫を譲ってもらう。施設職員による運搬ボランティアや炊飯器、椅子等を寄贈してもらう。

②電気料が未納があり、全額納付しないと使用できなかったので分割納付を相談する。

③独居で心疾患もあり急変等に連絡手段がないため行政にお願いし緊急通報システムを申請する。

その他の問題も解決でき入所から五ヶ月で在宅復帰できました。

今回ケースは経済的な問題があり途中あきらめることもありましたが、地域住民からの寄贈、ボランティア参加、行政、各部署との連携があり在宅復帰できました。これからも在宅復帰を積極的に行い、一人でも多くの方を住み慣れた家、地域で暮らせるように支援していきたいと思っています。